

1kg 缶入りインキを使用して
カラー調合をもっと手軽にする
新製品インキディスペンサーID-06のご案内

日頃より弊社製品をご愛顧賜り誠にありがとうございます。

さて、このたび弊社では1kg 缶入りインキを使用してカラー調合をもっと手軽にする新製品「インキディスペンサーID-06」(以下 ID-06)を開発いたしましたのでご案内申し上げます。

本製品 ID-06 は特色調合の時間短縮、スキルレス化を目的としたインキ抽出装置です。市販されている1kg 缶入りインキを使用し、手軽にカラー調合のインキ抽出・計量を自動化できます。

・市販の1kg 缶入りインキを使用するため多様なインキを選択できます。

ID-06 はインキ缶を上部からプレスし、缶の底に装着したバルブの開閉により必要量のインキを抽出します。使用するインキはスリーピース缶およびツーピース缶(いわゆる真空缶)とよばれる金属製の1kg 缶に入ったごく普通の印刷インキです。ID-06 では同時に6色までのインキ缶をセットでき、さらに、バルブとインキ缶を一体で使用するカップル構造のため、バルブ、ノズルの掃除をせずにインキ缶の入れ替えが行えます。調合するカラーに合わせて色の組み合わせを自由自在に変更できます。

・電子ハカリとマイコンによるサーボ制御で正確な抽出を実現。

タッチ式の液晶画面から配合量と目的量を入力すると、1色目のインキ缶を装置正面のプレスステージに移動し抽出を開始します。受け皿に抽出されたインキ量を電子ハカリからリアルタイムでフィードバックし、プレス圧力とバルブ開度をマイコン制御することで正確な抽出を実現しています。1色目の抽出が完了すると自動的に2色目のインキ缶がプレスステージに移動し抽出を開始します。調合に必要なインキの数だけ同じことを自動的に繰り返し実行します。また、配合の微調整を行う場合には、付属のターンテーブルを利用し各色を分離して取り出ことが可能です。

・皮張り(酸化皮膜)を取る手間や無駄がなく、常にフレッシュなインキを使うことができます。

ID-06 ではインキ缶を密封状態のまま抽出を行うので、表面の皮張り(酸化皮膜)を取り除く手間や無駄が無くなります。インキを取り出す際にいちいち缶のふたを開ける必要が無く、インキカスなどの異物が混入する心配もありません。最後までフレッシュな状態でインキを使うことができます。

抽出する過程で缶をプレスして行くため、インキ残量が缶のつぶれ具合から判断できます。また、最後まで使い切った段階ではインキ缶の容積が約1/5ほどに圧縮され、廃棄缶のストックスペースも減らせます。



株式会社

ALPHA-技研

〒420-0812 静岡市古庄3丁目27番3号

TEL 054-264-8533 FAX 054-263-9617

ホームページ <http://www.alpha-online.co.jp>

・開発の経緯

弊社アルファ-技研では卓上オフセット印刷機や封筒フィーダーの販売を通じて、印刷現場のさまざまなニーズに触れてまいりました。その中のひとつが「特色調合を合理化したい。」というものでした。

名刺、封筒印刷の現場では毎日非常に多くの特色を使用しています。納期短縮のために調合を社内で行うしかないという事情もあります。しかも、使用量は100~200g程度と少量の場合が多いのです。一度皮膜が出来てしまうとインキを取り出すために50g程度はインキを捨てることになります。目分量で調合を始めると必要以上のインキを作ってしまうこともあります。わずかな特色を調合するために、多くのムダが発生していました。

このようなニーズに着目し、2002年8月に開催されたPRINTEK TOKYO・東京グラフィックスフェア合同展で初めて「インキディスペンサーID-（ベータ）」としてコンセプトモデルを発表いたしました。このID-（ベータ）はインキ缶を1缶装てんし、メカ的にラフな計量をする仕組みでした。特に1kg缶を利用するというアイデアが関心を呼びご来場者様から大変な反響がありました。その後も各地の展示会に出展するたびに、多くの関心が寄せられ、貴重なご意見、ご要望やお問い合わせを数多くいただくことが出来ました。

その中には、「うちではそれぞれのオペレーターが自分で調色するので何台も欲しい。」というありがたいご意見や、「カラー調合のためには最高で6色混合する場合がある。」といったご教授、「計量精度の高いものが欲しい。」というご要望もありました。

弊社では特にご要望が強かったカラー調合にフォーカスし、基本設計から開発を始めました。その結果、新製品「インキディスペンサーID-06」では、1kg入インキ缶を同時に6缶装てんでき、電子ハカリ連動により精度の高い計量を実現いたしました。設置面積も事務用デスクの半分程度と場所を取りませんので、小ロットカラーニーズに幅広くご活用いただける製品と自負しております。

本製品は弊社にとって新しい分野の製品です。開発の過程でお寄せいただいたご要望はとても多様なものでした。従来製品では接点が無かったような分野、業界からのお問い合わせもいただきました。また、本製品に関連して「インキを練る機械」や「既存のCCM（Computer Color Matching）とデータ交換できると便利だ。」といったご要望もいただいております。これらも含め弊社では、今後も引き続きさまざまなニーズに対して製品化を計画しております。

なお、本製品は2003年4月下旬より各地展示会に出展し、受注開始は5月中旬を予定しております。今後ともご愛顧賜りますようお願い申し上げます。



株式会社

アルファ-技研

〒420-0812 静岡市古庄3丁目27番3号
TEL 054-264-8533 FAX 054-263-9617
ホームページ <http://www.alpha-online.co.jp>

ALPHA ENGINEERING INC.

インキディスペンサーID-06 の特長

電子ハカリとマイコンによるサーボ制御で正確な抽出を実現。
タッチ式の液晶画面によるインターフェースで操作が簡単。
配合率と目的完成量をタッチパネルから入力するだけで、自動的に抽出される。
回転ターレット内に同時に6缶のインキをセットできる。
インキ缶とバルブをペアで使用する構造のためインキの入れ替えが自由自在。
市販の1kg缶入りインキを使用するため多様なインキを選択できる。
皮張り(酸化皮膜)を取り除く手間や無駄が不要で、最後までインキを使い切ることが出来る。
インキを取り出す際に異物が混入する心配が無い。
操作パネルは本体から取り外し可能。デスク上など操作しやすい位置に設置できる。
過負荷防止回路を始め、インターロックによる安全機構を装備。

(仕様)

インキ装てん数：1kg缶入りインキ×6缶(入れ替え式)

抽出精度：各色毎に+0.5g以内。

最大抽出量：500g(トータル)

電源：100V500VA

機械寸法：W550×H650×D700

機械重量：約50kg

付属品：電子ハカリ(秤量2,000g、単位1/100g、通信インターフェース付き)、ターンテーブル、
バルブベース×6、インナーゴム×6、接着プレート×6、パンチャー、受け皿×2。

オプション：専用台(インキ缶を27個収納可能。)(2003年初夏発売予定)



株式会社

ALPHA-技研

〒420-0812 静岡市古庄3丁目27番3号

TEL 054-264-8533 FAX 054-263-9617

ホームページ <http://www.alpha-online.co.jp>